



市報

あまがさき

6

令和6(2024)
No.1699

特集
P2-5

尼崎の自然、 さがしてみよう

藻川でカニが
とれたよ!



PICK UP!

P7

今のうちに取り組もう
風水害に備えて、情報の取得手段の確認を

P8

令和6(2024)年10月・7(2025)年4月採用
市職員を募集(事務・技術・保健師、保育士、消防吏員)

電子版(抜粋版)も配信中!



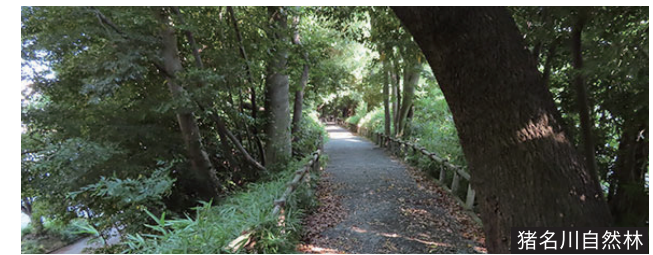
15言語での表示・音声読み上げ
Multilingual(15 languages)

尼崎の自然、さがしてみよう

6月は環境月間です。本市では「尼崎市環境基本計画」や「尼崎市生物多様性地域戦略」を策定し、「生き物と共生した四季を実感できるまち あまがさき」を目指しています。本市の自然・環境の現状と、それを守る活動を紹介し

☎1037394 図環境創造課 ☎6489-6301 FAX 6489-6300

尼崎の自然と、そこにすむ生き物たち



尼崎に古くから存在していた樹林として、エノキ・ムクノキから構成される河川沿いの林があります。佐璞丘や猪名川自然林、農業公園などにも、この特徴を持つ樹林が残っています。農業公園では野鳥や県のレッドリストで要注目種に選定されているヒメボタル(裏表紙参照)を見ることができるほか、魅力向上に向けた取り組みとして、自然や生き物に関する観察会・体験イベントなども開催しています。



規模の大きな公園には、樹林地や草地、小川、池など多様な環境が存在しています。希少種を含めさまざまな草木が植えられており、樹林にヒヨドリやシジュウカラ、水辺にセキレイ類やサギ類、トンボ類やバッタ類、ミナミメダカなどが見られます。



都市化が進む市内にも農地や水路が残っており、デンジソウやヒメミズワラビ、カワデシャなどの希少な植物やカエル類などが水辺や湿った所に生育・生息しています。また、市街地の水路網でも、トンボ類など水辺に生息する生物を見ることができます。



武庫川・猪名川・藻川には水生生物が生息するための多様な環境があり、アユやウナギ、ミナミメダカ、クロベンケイガニなどが確認されています。また、河原や河川敷にはさまざまな植物が生育し、鳥類や哺乳類、昆虫なども生息しています。



臨海部にある尼崎の森中央緑地は、阪神間に昔から生育していた木々の種を工場跡地に植え、緑化を進めるという全国的にも珍しい取り組みで造られ、本市の生物多様性の核となる緑地として期待されています。

また、海や運河では、アジやクロダイなどが確認されています。運河は渡り鳥の渡来地でもあり、冬季にはホシハジロを多数見ることができます。



「尼崎の自然ハンドブック」ができました
市役所中館9階環境創造課で配布中!



まるでまちの中の
ビオトープ!



河川
水生動植物の
パラダイス



臨海部
尼崎の臨海部には
森がある!



あまがさき環境オープンカレッジは、「尼崎を愛し環境を思う人が出会い、共に学び、実践へのきっかけをつくる場」として平成22(2010)年にスタートしました。市民や企業、学校、行政で構成される実行委員会により運営し、環境に関連した講座やイベントを行うほか、環境活動を行うほかの団体の支援などもしています。



あまがさき環境オープンカレッジは
市内の環境活動を
応援しています

6月～7月 開催のイベント

▶ 田能の田んぼで

生き物観察&カブトエビをさがそう

6月16日(日)午前9時40分～正午(雨天中止)、農業公園で。小学生以下の方は保護者同伴で。定員50人 料200円 申込6月5日から電話で自然と文化の森協会福本さん ☎090-4030-3833、環境創造課 ☎6489-6300

▶ はんつかあるもんで

ID 1034009

6月29日(土)午前10時～正午、阪急塚口駅南側で、衣類や雑貨などのリユース市を。持ち込みはできません。 申込不要 定員あまがさき環境オープンカレッジ ☎6421-0544 ☎水・木曜日

▶ 七夕の笹飾りを作ろう

6月30日(日)午前9時40分～正午(雨天中止)、農業公園で。小学生以下の方は保護者同伴で。定員50人 料200円 申込6月5日から電話で自然と文化の森協会福本さん ☎090-4030-3833、環境創造課 ☎6489-6300

▶ 環境劇

ID 1037506

6月30日(日)午後1時30分～3時、中央北生涯学習プラザで、舞台「命の泉」の上演を。 申込不要 定員あまがさき環境オープンカレッジ ☎6421-0544 ☎水・木曜日

▶ 水辺で楽しもう 藻川で魚捕り&川遊び

7月7日(日)午前9時40分～正午(雨天中止)、藻川中園橋河川敷で。小学生以下の方は保護者同伴で。料200円 申込不要 定員自然と文化の森協会佐藤さん ☎070-5651-1123、環境創造課 ☎6489-6300。

尼崎は都心部に位置しながら、実は猪名川自然林や農業公園の竹林など、自然豊かなスポットがいくつもあります。

自然と文化の森協会では、園田地区を中心に自然と文化の保全に関するさまざまな活動を行っています。例えば猪名川自然林で苗木を育てる・下草を刈るなどの維持作業をしたり、伝統野菜である田能の里芋を守りつつ農地を保全したりといった活動です。また、野草摘みやライフジャケットを着けての川流れなどのイベントで、子どもたちに自然に触れる楽しさも伝えていきます。

藻川には子どもたちでも簡単に捕れるくらい多くの魚が生息していますし、猪名川の河川敷や農業公園の



クロベンケイガニ釣り



野草摘み

身近な自然を 直接感じて

尼崎の自然の イマを語る



自然と文化の森協会
会長 佐藤亮さん

研究発表を通して 意識や行動が変わる

尼崎小田高校では「地域課題解決に取り組み高校生サミット」を毎年主催していて、環境や防災などのテーマで県内外の高校生たちが研究発表しています。私たちは昨年度に、生ごみの処理(コンポスト※)や海洋環境などについてそれぞれ研究発表を行いました。

環境に関する研究を行うことで、尼崎の自然環境にも興味を持ち、同サミット参加や日ごろの学習を経て尼崎の自然環境の良さに改めて気付きました。例えば研究の一環で阪神間の水質調査を行った際には、尼崎の港や尼崎運河の水質がほかの所と同程度であることが分かりました。

また、身近なことと言うと、まちを歩いていて街路樹や公園などの緑を目にする機会も多いと感じます。同サミット参加後はごみが落ちていたら拾って捨てるようになるなど、私たち自身の意識や行動も変わってきたと思います。

今後も授業などで環境に関する研究を進めながら、私たち一人ひとりができることをしていきたいと思っています。そして、市民の皆さんに尼崎の自然や環境について知ってもらえる機会がふくれたらと思います。

※生ごみなどを微生物の働きで発酵・分解させ、堆肥を作ること



水質調査

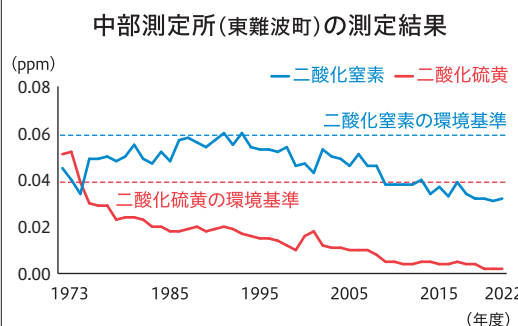


尼崎小田高校の皆さん

市民・事業者・行政が協力して環境保全に取り組んだことにより、大気環境や水質環境が大きく改善しました。

尼崎市の環境の良さは データでも証明

大気中の物質は 代表的な項目で国の基準をクリア



水質は大幅に改善し 良好な状態を維持

